

AHI 巡回报告会 at 愛知淑徳大学

ダリットとして生きる



— インド社会で虐げられてきた人々の声に聴く —

ダリットという人々のことを知っていますか。最近ではインドの大統領がダリットの出身であることが話題となっています。ダリットとは、カースト制度の外に置かれた人々のことで被差別民衆ともよばれます。

講師のカリさんは、自らもダリットとして、幼少期にさまざまな体験をし、大学卒業後は長年 NGO ワーカーとして活動してきました。今回の報告会では、自らの体験をもとに、インド社会におけるダリットの置かれてきた状況や、ダリットの人たちと展開してきた人権回復運動の中で、どのように当事者が声をあげるようになってきたかについて、写真や映像を交えて語っていただきます。歌や絵を用いた活動の実演もあります。

日 時：11月21日（火） 午前11時10分～12時40分

会 場：愛知淑徳大学長久手キャンパス 8号棟 813 教室

愛知県長久手市片平二丁目9 TEL：0561-62-4111(代表)

(地下鉄「本郷」駅から市バスあり。公共交通機関をご利用ください)

参加費無料、事前申込不要（直接会場へお越しください）

講師プロフィール：Murugan Kalirathnam さん（通称 カリさん）



1994年のAHI研修生、本人もダリットの出身。1992年から12年間、南インドでダリット解放運動、生活改善を進めたNGOで活動。2006年にTTA（ティルパニ協会＝貧困者のための奉仕協会）を創設して現在にいたる。TTAでは、ダリットが権利意識に目覚め主体的に行動するように支援をしている。女性、子供、ダリットと先住民たちが行政サービスを利用できるようになることを目指している。また、経済的理由で学校に行けなくなった生徒たちの義務教育への復帰、障がい者の権利獲得、地域保健、土地なし農民の権利回復運動なども進めてきた。特に農村における障がい者支援は、政府とも連携をしてTTAの主たる活動になっている。

主催：愛知淑徳大学ジェンダー・女性学研究所 協力：公益財団法人アジア保健研修所(AHI)

アジア保健研修所 (AHI:Asian Health Institute)とは

アジア各地の農村やスラムで人々の健康を守るため、現地の保健ワーカーを育成している国際協力NGOです。1980年に始まり、約6000人の卒業生がアジア各地で活動しています。

問合せ先

愛知淑徳大学ジェンダー・女性学研究所
TEL：0561-62-4111（内線：2498）
E-Mail：igws@asu.aasa.ac.jp
担当：中村